

市民との協働による「おおまち病院まつり」開催事業

取組に至る背景・事業の目的

- 医師、看護師不足など、地域医療を取り巻く環境が深刻化する中、市民有志により「大町病院を守る会」が平成22年5月に結成され、病院利用者や地域住民の立場から大町病院の存続、再生に向けた取組が始まった。
- 平成22年度に病院の現状を理解してもらうために行った「地域懇談会」では、大町病院の重要性をもっとアピールすべきとの意見が多く寄せられた。
- 病院内でも病院再生への意識が高まり、「大町病院を守る会」と協働して「おおまち病院祭」の開催を計画。大北地域の医療を担う大町病院の存在意義をアピールするとともに、地域住民との交流をさらに深めることで、病院再生に取り組むことを目的として開催した。

事業内容

- 病院施設を開放し、病院の活動や業務内容を楽しみながら知ってもらうことで、病院をより身近に感じてもらうイベントを実施。
 - ・健康づくり講演会 演題：「命について」講師：三四六さん
来場者数 500人
 - ・ミニ健診・栄養相談 400人 ・骨密度測定 370人
 - ・医師による健康セミナー 160人

この他、子供ドクター・ナース体験、視力・聴力検査、手術体験、お薬相談、院内見学ツアー、DMAT実技、進路相談、介護方法指導、ボランティア紹介、脳年齢測定 を実施。

- 大町病院を守る会、地元商店街、関係団体の協力による出店



【三四六さんの講演会】

事業効果

- 当日は荒天にも関わらず、目標を大きく上回る2,000人の来場者で賑わい、商店街、関係団体の露店販売も好評を博し、完売状態であった。
- 来場者アンケートでは、回答者の75%の人から、「地域に根差した病院づくりに効果があった」との評価をいただき、商店街等からは今後もぜひ参加して地域を元気づけたいという声をいただいた。
- 商店街や地域住民との交流を通じて、大町病院の必要性をアピールする場となり、病院再生への一歩につながるものとなった。



【ミニ健診・血糖測定】

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 「大町病院を守る会」を中心に多くの市民活動団体にも積極的に参画いただき、住民ぐるみで病院祭の開催に結び付けることができた。
- 地域医療の基盤となる自治体病院として、市民の皆さんとの交流、協働は不可欠であり、病院事業への理解を深めるためにも、継続して開催していきたい。

【選定のポイント】

初めて開催された病院まつりには、多くの市民の来場があり、病院を身近に感じてもらう機会となった。また、市民有志により設立された大町病院を守る会や地元商店街等と協働して開催されている。

団体名 大町市	事業タイプ	ソフト事業
連絡先 電話 0261-22-0415	事業費	1,758,633円
市立大町総合病院 事務部庶務課	支援金額	1,508,000円
メールアドレス hospital@city.omachi.nagano.jp		